



News Letter

Vol.
24

「尼崎市犯罪被害者等支援条例」の施行について ～犯罪被害者に寄り添った早期の支援に向けて～

尼崎市長 稲村 和美



公益社団法人ひょうご被害者支援センターの皆様方には、日頃から犯罪被害者支援にご協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

尼崎市は、平成27年7月1日に尼崎市犯罪被害者等支援条例を施行いたします。本市では、犯罪被害に遭われた方に対する支援は以前から行っておりましたが、その支援についてはそれぞれの所管課が既存施策の範囲で対応しており、被害者支援に特化した施策は無く、犯罪被害者等基本法に定められた施策との関連が分かりづらい状況となっておりました。このことから、被害に遭われた方が利用できる施策を一元的に示し、被害に遭われた方に寄り添った早期の支援を行うことを目的として、平成26年6月から条例制定に向けて検討を始め、半年後には条例の骨子を取りまとめました。条例には、被害者の方々が直面する様々な問題について相談に応じるための専門の窓口の設置をはじめ、見舞金の支給や家事援助、一時保育費用、家賃、転居費用の助成などといった幅広い支援施策を盛り込みました。こうしたことによって、本市の被害者支援のコンセプトである「被害に遭われた方に寄り添った早期の支援」を実現するための体制作りへ大きく踏み出せたのではないかと考えております。

条例を制定するにあたっては、被害者支援に関する先進自治体である明石市や神戸市などから、幅広い支援制度に関する調査や情報収集などにご協力を賜りました。また、関係団体等が主催する研修会や講演会への参加を通して、被害者の方々が置かれている現状や心情に対する理解を深める貴重な機会を得ることができました。このような被害に遭われた方に対する理解を深める取組みについては庁内の関係部署の職員だけではなく、今後本市の全職員に対して推進していく所存です。しかし、行政だけで被害に遭われた方を支えることはできません。市民の皆様が犯罪被害に対する理解を深め、民間支援団体等と共に地域一丸となって、被害に遭われた方を支える地域社会の実現が何よりも重要であり、尼崎市犯罪被害者等支援条例はその大きな後押しになると考えております。この条例の施行を機に、これからもより一層の被害者支援の普及、推進に努めてまいります。

また、本市は、平成28年に市制100周年を迎えます。記念すべき100周年に向け、市民の皆様が必要な支援を受け、社会とのつながりを実感しながら生きがいをもって安心して生活できるまちづくりに全力を尽くしてまいりますので、皆様方にはどうか今後とも、本市の市政運営に温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人ひょうご被害者支援センターのさらなるご発展と、皆様方のご健勝並びにご活躍を祈念し、ごあいさついたします。



公益社団法人 ひょうご被害者支援センター 電話相談

078-367-7833

毎週 火・水・金・土 (祝日は除く) 午前10時～午後4時
心理相談・法律相談も行っております(無料・予約制)

平成26年度支援活動報告

◆電話相談被害種別件数

種 類	件 数		前年度比
	25年度	26年度	
殺人	16	44	275%
強盗	11	10	91%
強姦	27	49	181%
強制わいせつ	43	69	160%
その他の性被害	50	28	56%
暴行傷害	101	100	99%
交通事故	25	39	156%
財産被害	21	33	157%
DV	238	343	144%
ストーカー	2	8	400%
虐待	1	9	900%
その他	171	216	126%
合 計	706	948	134%
年間相談日数	195日	194日	

◆支援内容別件数

付 添 い 先	件 数		前年度比
	25年度	26年度	
警察	4	3	75%
裁判所	48	65	135%
検察庁	20	23	115%
行政窓口等	7	6	86%
医療機関	9	12	133%
弁護士事務所	45	65	144%
法律相談(無料)	28	44	157%
心理相談(無料)	0	5	—
代理傍聴	40	40	100%
自助グループ支援	7	7	100%
その他	2	4	200%
合 計	210	274	130%

◆面接相談種別件数

種 類	件 数		前年度比	
	25年度	26年度		
法律相談(弁護士)	29	47	162%	
心理相談(臨床心理士)	36	41	114%	
犯罪相談被害員	初回	31	57	184%
	継続	22	11	50%
合 計	118	156	132%	

◆講演・広報啓発

種 類	件 数		前年度比
	25年度	26年度	
講演活動	52	64	123%
広報・啓発活動	58	33	57%
合 計	110	97	88%

命の大切さを学ぶ授業 活動報告

～被害者にも加害者にもならない社会づくりのために～

犯罪被害に遭われた方への理解を深め「自分の命も他人の命も大切に作る心」が育まれることを願い、県内の中学・高校生を中心に、ご遺族による講演活動を展開しています。「命は取り返しがつかない大切なもの」「心に響いた」「勇気をだして相談する」などの感想が寄せられています。

◆26年度 実施した学校数

小学校	1
中学校	15
高等学校	3
大学	2
インターンシップ	1
合計	22

◆年度別実施校数・人数

年 度	21	22	23	24	25	26
件 数	5校	20校	21校	22校	29校	22校
総人数	2250名	4600名	6600名	8359名	6920名	5291名
合 計					119校	34020名

平成26年度 正味財産増減計算書(要約版) (26年4月1日～27年3月31日)

◆収益

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
正会員受取会費	685,000	受取寄付金	3,270,176
個人賛助会員受取会費	325,000	雑収入	604
団体賛助会員受取会費	3,010,000	受取寄付金 注*	10,464,001
事業収益	1,975,796	固定資産受贈益 注*	563,756
受取補助金等	4,640,000	正味財産期首残高	12,159
受取委託金	4,710,000		
計		29,656,492	

◆費用

勘定科目	決算額
事業費	13,184,478
管理費	7,311,035
正味財産期末残	9,160,979
計	29,656,492

注* 特定非営利活動法人ひょうご被害者支援センターの解散(平成26年4月2日)により残余財産が寄贈された

正会員(敬称略)

枝介 歩咲美子 香哉子 章代 雄子 代剛子 郎一 信
 寿慎 美千広 美美 勝典 正育 良武 久 千次 修
 長山 宅上 木上 井下 脇上 上田 瀬形 田村 竹本 水
 松丸 三三 三三 道三 宮宮 村安 柳山 山山 山吉 若脇
 子友 雄彦 みゆ 一郎 雄敦 子子 守美 夏智 子子 美子 男子 介世子 修子 子子
 紀望 茂良 太一 恒一 京弘 朱千 京博 初伸 保昌 孝佳 節 雅恒 久美
 村本 安谷 田澤 原本 川川 師部 原野 本田 井井 田村 原口 多多 尾田
 中中 永西 西野 萩橋 長長 土服 春東 平福 福藤 藤藤 藤藤 堀本 本松 松
 治稔 子子 子子 士男 郎子 介一 子究 子子 子子 子子 敏子 治郎 喜一 夫太
 曉と 由由 敦静 資久 隆惠 和 桂実 裕久 省 正真 新一 良憲 久勤
 川林 木部 根松 上宮 内本 花達 仲中 中中 中崎 保 田田 永藤 井川
 白杉 鈴曾 僧高 田高 竹竹 立伊 田田 田田 田煙 反堤 堤寺 戸富 内中 中
 真曰 策之 也夫 敬子 枝洙 工也 三紀 泰雄 廣子 樹子 彦久 代子 之子 豊
 アキ 公裕 哲定 治博 正光 トシ 哲弘 麻 一義 美繁 憲晃 和 静多 將俊
 瀬田 井川 本村 村村 村 荻石 池寺 林井 口田 井藤 山谷 本水 水村 井
 河神 菊岸 岸木 木木 木金 草倉 小小 小阪 坂坂 櫻佐 塩渋 嶋志 清下 白
 武子 男美 子子 子子 子子 子子 美乃 子子 英理 一 和一 子子 行雄 佳子
 正恵 静宏 佐麻 勇久 圭美 幸千 裕え 晃克 眞や ゆ 英良 攝宏 廣誠 美恵
 木澤 川田 本関 藤井 井切 田藤 藤越 崎谷 田西 野林 田河 井添 谷谷
 青赤 石石 泉泉 井伊 岩岩 岩上 遠遠 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 尾尾 垣垣 釜釜 上

ほか匿名先
 (あいうえお順に記載)

個人賛助(敬称略)

二穀 郎旨 守代 美世 三彦 昇
 謙 幸次 従 育喜 明省 善
 岡田 本場 崎崎 和 中西 野辺
 松松 松的 山山 大山 山山 横渡
 子彦 夫子 裕忍 美子 実夫 子子 子子 子子 子子 郎
 和靖 哲有 敏 真代 寿代 真章 祐佳 雅久 美一
 山村 村田 本岡 田井 川本 林野 川本 浦
 中西 西新 橋花 福藤 藤藤 藤古 坊堀 堀松
 子光 宣勇 子博 子郎 子夫 志弘 弓夫 也
 禮 幸 千枝 雅敦 健次 範哲 憲武 真秀 拓
 崎巳 石中 中 村 渕澤 本田 坂平 倉原
 田辰 立田 田谷 谷田 近塚 津寺 徳計 中
 彦愛 子晋 一明 子幸 美昭 夫弥 均博 子
 忠康 明 幸俊 宏務 由義 康侑 文
 藤田 藤藤 本本 井木 木田 浦本 島田 田
 工久 保 後後 阪坂 櫻佐 佐柴 杉杉 竹武 武
 治彦 郎子 孝子 子助 美生 平武 志新 治
 充雅 敏順 秀由 紀美 之由 健重 道喜 宗清 建久
 外田 田藤 本野 出仲 西野 山谷 園田
 日浅 芦伊 岩上 鞠生 大大 荻片 上茅 口

ほか匿名先
 (あいうえお順に記載)

個人寄附(敬称略)

子章 子枝 剛武
 典正 陽和
 村上 山山 山山
 上上 岡川 田根
 村村 山山 山山
 晴加 子吾 子郎 光一 子
 良美 節章 律一 邦研 裕
 崎坂 口田 井心 療クリニック 浦尾 尾
 濱保 堀増 松(松井心療クリニック) 松松 丸南
 之子 介久 志平 樹士 隆進
 將俊 隆豊 憲幸 茂佐 正富
 水村 花中 田山川 牆腰 田多
 清下 立田 津中 西西 波花
 子夫 子新 雄夫 枝子 樹昭
 晶國 賀建 智定 正美 繁忠
 田木 木園 下村 村田 井垣
 小柿 柿茅 木木 坂櫻 柴
 典子 孝也 司三 吉秀 享
 晃美 智吉 達勇 弘孝 清
 部井 保原 関池 川江 野
 阿有 安石 井小 大近 荻

ほか匿名先・街頭募金協力者
 (あいうえお順に記載)

ご協力ありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

団体賛助(敬称略)

赤穂地区警察官友の会
(株)アシックス
尼崎信用金庫
(株)尼信経営相談所
尼新実業(株)
尼信情報システム(株)
尼信ビジネスサービス(株)
尼信ビル(株)
尼信保証(株)
尼信リース(株)
岩岡自動車(株)
岩見印刷(株)
(医)内海慈仁会姫路北病院
加古川地区企業防犯協会
(株)カネミツ
(株)加美乃素本舗
川崎重工業(株)
関西電力(株)神戸支店
近畿システム管理(株)
(一財)敬愛まちづくり財団
神戸北ロータリークラブ
神戸空港ターミナル(株)
神戸電鉄(株)
神戸西地区警察官友の会
(株)神戸風月堂
国際ソロプチミスト神戸西
国際ソロプチミスト但馬
小西造園(株)
三宮センター街2丁目商店街振興組合
三宮センター街3丁目商店街振興組合
(株)シマブンコーポレーション
神姫バス(株)
(株)神鋼環境ソリューション
新長田地区自治連合会
スバル興業(株)

(株)スリーエス
(株)セプレ24
(株)大栄
宝塚警察署 宝和会
高羽財産区管理会
灘薬剤師会
ニシカワ食品(株)
(公社)西脇・多可シルバー人材センター
(株)NEO DAISEI
日笠工業(株)
姫路合同貨物自動車(株)
姫路信用金庫
(株)兵栄
兵庫県警察信用組合
兵庫県指定自動車教習所協会
(学)兵庫県自動車学校
兵庫県遊技業協同組合
兵庫トヨタ自動車(株)
(一社)兵庫県トラック協会
(公財)復光会 垂水病院
船造幸雄税理士事務所
(公財)暴力団追放兵庫県民センター
まや鋼業(株)
(株)マルアイ
三木市
UCCホールディングス(株)
(有)リサーチ兵庫
(株)ロック・フィールド

(一財)兵庫県交通安全協会
網干交通安全協会
飾磨交通安全協会
須磨交通安全協会
垂水交通安全協会
社交通安全協会

兵庫県 警友会
警友会 有馬支部
警友会 生田支部
警友会 加古川支部
警友会 加西支部
警友会 神戸水上支部
警友会 神戸西支部
警友会 宍粟支部
警友会 須磨支部
警友会 洲本支部
警友会 高砂支部
警友会 宝塚支部
警友会 垂水支部
警友会 豊岡支部
警友会 西脇支部
警友会 姫路支部
警友会 福崎支部
警友会 美方支部
警友会 三木支部

(公社)兵庫県防犯協会連合会
尼崎北防犯協会
淡路防犯協会
伊丹防犯協会
加東防犯協会
須磨防犯協会
洲本防犯協会
豊岡防犯協会
長田防犯協会
西脇多可防犯協会
東灘防犯協会
南あわじ防犯協会

ほか匿名先

(あいうえお順に記載)

団体寄附(敬称略)

(一財)尼信地域振興財団
有馬交通安全協会
有馬防犯協会
生田防犯協会
うはら工場防犯協会
(株)北村工務店
国津商事(株)
警友会 養父支部
警友会 たつの支部
(株)神戸製鋼所
(有)新成警備保障
多木化学(株)
垂水自家用自動車協会
垂水駐車場協会
灘区歯科医師会
(株)日穀
姫路交通安全協会

(一財)兵庫県警察協会
(一社)兵庫県信用組合協会
(株)公商

兵庫県警察本部
・鑑識課
・交通企画課
・交通規制課
・交通指導課
・災害対策課 なまづ会
・昭和の婦警の会
・捜査第三課
・少年捜査課女子会
・総務課
・組織犯罪対策課 通訳センター
・たとぬ会
・地域指導課

兵庫県警察署
・朝来警察署
・尼崎東警察署
・淡路警察署
・佐用警察署 明朗会
・飾磨警察署
・宍粟警察署
・長田警察署
・東灘警察署

舞子高等学校第2回生同窓会
三輪運輸工業(株)

ほか匿名先

(あいうえお順に記載)

Topics

「ひょうご地域安全まちづくり活動賞」 を受賞しました。

兵庫県知事は「地域安全まちづくり活動」に顕著な功績があったとして個人5名と14団体を表彰。

うち団体として「ひょうご被害者支援センター」

個人としてセンターの高松由美子理事が表彰を受けました。



個人表彰を受ける高松由美子理事
左は井戸兵庫県知事



団体表彰を受ける当センター
井関理事長。左は井戸兵庫県知事

電話相談員養成講座は毎年開講しています
(人材養成事業)
～支援員養成へのステップとして～

裁判所や弁護士事務所などへの付添い支援ニーズが増加しており、次代の支援を担う人材育成が大きな課題となっています。その為、支援員への登竜門である電話相談員の養成講座を本年も6月～8月にかけて開催いたします。



ご協力をお願い ～当センターのポスター掲示～

県民の皆様、当センターのことを知っていただくため、当センターのポスター掲示にご協力をお願いします。例えば町内の掲示板や公共の建物、ご自宅の外壁等で、団体・個人を問いません。

サイズは3種類を用意しています…

事務局へ連絡いただければ手配いたします。

ポスターサイズ(単位mm)

大=A2版(縦594×横420) 中=B3版(縦515×横364) 小=A4版(縦297×横210)

～募金箱設置にご協力をお願いします～

募金箱を、お店や企業、施設などに置いていただいています。集まった募金は犯罪被害にあわれた方の支援活動に活用させていただきます。

募金箱設置にご協力いただける個人または団体のかたがいらっしゃいましたら、ひょうご被害者支援センターまで連絡をお願いいたします。



クリックで

広げよう!
被害者支援の輪!

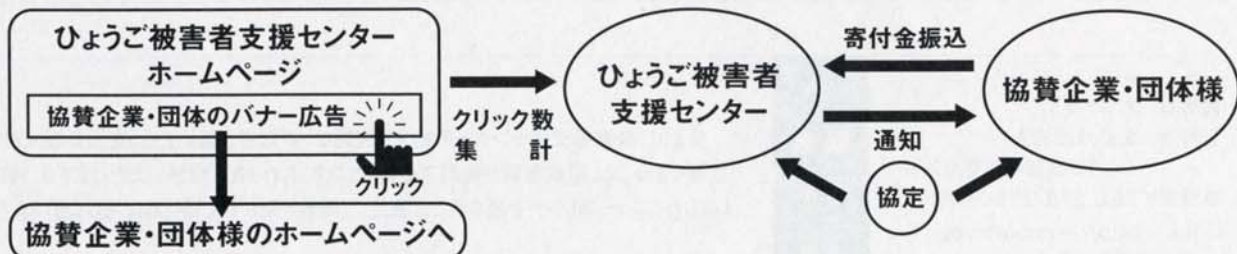
ワンクリック募金を開始いたしました バナー広告掲載のお願い

ひょうご被害者支援センターのホームページにバナー広告を掲載頂きクリック数に応じ、ひょうご被害者支援センターに寄付する仕組みです。

ひょうご被害者支援センターのホームページ閲覧者が貴

社・貴団体のバナー広告を1回クリックするごとに10円をセンターに寄付として頂きます。1企業・団体の寄付は1か月当たり3千円が上限で年に一度合計額で振込んで頂きます。

お問合せ・お申込みは事務局まで。



本で支援の輪(リング)が広がってほしい、という願い

昨年は一年間で98件10,197冊の取り扱いで162千円のご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

不用になった本・CD・DVDでご寄付をいただく社会貢献プロジェクトです。

読み終わった不用な本、CD、DVDを「贈与承諾書」と共に梱包。



買い取り業者「株式会社バリューブックス」 TEL 0268-75-9380

にお電話いただくと、ご指定の時間にヤマト運輸が集荷に伺います。

買い取り業者にて、送付いただいた本を査定し、その金額がひょうご被害者支援センターに寄付されます。

※「贈与承諾書」は事務局(078-362-7512)にお申し付け下さるか、ひょうご被害者支援センターのホームページからダウンロードしてください。

被害者支援自動販売機設置にご協力ありがとうございます

皆様の温かい応援をいただきまして、34台(27年4月現在)の被害者支援自動販売機が設置されました。

●ご協力先様●

尼崎信用金庫職員生活協同組合

株式会社伊藤園

金井自動販売株式会社

株式会社カネカ

株式会社加美乃素本舗

関西キリンビバレッジサービス株式会社

国津商事株式会社

KENSOWAKAコーポレーション

神戸スタンダード石油株式会社

コカ・コーラウエスト株式会社

コベルコ教習所株式会社

サントリービバレッジサービス株式会社

株式会社ジャパンビバレッジウエスト

株式会社タイガー

ダイドービバレッジサービス株式会社

日笠工業株式会社

パレス神戸

学校法人兵庫県自動車学校 西宮校

学校法人兵庫県自動車学校 明石校

学校法人兵庫県自動車学校 姫路校

兵庫ヤクルト販売株式会社

株式会社北海

マイスター工房八千代

武庫川女子大学

ヤスダ産業株式会社

(敬称略)

次回シンポジウムのお知らせ 平成27年11月3日(火)午後1時30分 兵庫県民会館 パルテホールで開催いたします。

私たちの活動は、会費や寄付等で支えられています。支援はすべて無料で行いますが、支援員の養成・研修・広報啓発活動・事務局の運営などに経費を必要とします。被害者の方が安心して相談できるための活動を理解し、ご支援・ご協力をお願い致します。

会員募集

ひょうご被害者支援センターの活動を支える仲間を募集しています。ご協力をお願い致します。

年会費	正会員	個人	5,000円	郵便振替
	賛助会員	個人	一口 1,000円(何口でも可)	
		団体	一口 10,000円(何口でも可)	口座名義：公益社団法人 ひょうご被害者支援センター



発行日：2015年5月

発行者：公益社団法人

ひょうご被害者支援センター

事務局：TEL 078-362-7512

URL：http://supporthyogo.org

編集 後記

ひょうご被害者支援センターの抱える問題は、認知度が低いこと、支援員の人材育成が急務であること、財政基盤が脆弱であることです。これらをご理解いただけますよう編集いたしました。ニュースレターを読まれたご意見・ご感想を聞かせて頂ければ嬉しく思います。